



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
 コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西本 實男
 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,712	△14.7	△98	—	△425	—	△501	—
24年3月期第2四半期	10,215	20.3	△362	—	△894	—	△941	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △752百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △1,384百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△11.31	—
24年3月期第2四半期	△21.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	26,082	7,148	27.4	161.14
24年3月期	27,927	7,901	28.3	178.10

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,148百万円 24年3月期 7,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 25年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△11.0	1,000	29.1	750	175.8	450	434.4	10.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	47,178,956 株	24年3月期	47,178,956 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,821,174 株	24年3月期	2,815,181 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	44,360,843 株	24年3月期2Q	44,369,548 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 25年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要による景気の下支えを受け、緩やかな回復傾向で推移しました。しかしながら、続く為替の円高や急速に顕在化した中国経済の失速により、景気の先行き停滞感が強まり、国内の設備投資を手控える動きが出てまいりました。

海外では、米国経済が緩やかな回復を続けたものの、収束を見せない欧州債務危機の余波は根強く、アジアをはじめ新興国の経済成長を減速させる要因となりました。

このような状況の中で当社グループは、様々なニーズに対応した製品の開発を推し進め、海外市場での販売を強化するとともに、内製化率向上等による変動費の削減や固定費の圧縮に、積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比14.7%減の8,712百万円になり、経常損失は425百万円（前年同期は経常損失894百万円）、四半期純損失は501百万円（前年同期は四半期純損失941百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,845百万円減少し、26,082百万円となりました。主な要因は、たな卸資産が838百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,121百万円、有形固定資産が461百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して1,092百万円減少し、18,934百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,193百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して752百万円減少し、7,148百万円となりました。主な要因は、四半期純損失501百万円及び円高に伴う為替換算調整勘定の減少232百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.3%から27.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して91百万円（3.8%）減少し、2,334百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5百万円（前年同期は1,837百万円の使用）となりました。これは主に、仕入債務の減少1,156百万円及びたな卸資産の増加988百万円により資金が減少した一方で、売上債権の減少2,013百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、257百万円（前年同期は212百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出222百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、208百万円（前年同期は501百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の減少615百万円（純額）及び長期借入金の返済による支出734百万円により資金が減少した一方で、長期借入れによる収入1,515百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国の経済動向につきましては、輸出回復の遅れを背景として、減速傾向がより鮮明となるものと思われれます。他方、世界経済につきましても、けん引役の新興国に減速傾向が見られるなど、先行きに不透明感を払拭できません。

このような中で当社グループは、通信・エネルギー分野をはじめとして、顧客ニーズに対応する製品開発を急ぐとともに、成長市場を中心に販売活動を強化してまいります。

また、内製化の推進による変動費の一層の削減に取り組む等、利益確保に向けた諸施策を実施し、収益性の更なる向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,964	2,824
受取手形及び売掛金	7,554	5,433
商品及び製品	1,225	1,549
仕掛品	3,062	3,956
原材料及び貯蔵品	2,694	2,315
その他	417	466
貸倒引当金	△54	△50
流動資産合計	17,864	16,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,044	3,840
機械装置及び運搬具（純額）	2,892	2,673
その他（純額）	2,076	2,038
有形固定資産合計	9,013	8,552
無形固定資産		
投資その他の資産	123	103
投資有価証券	207	199
その他	737	754
貸倒引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	925	931
固定資産合計	10,062	9,586
資産合計	27,927	26,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,487	2,294
短期借入金	10,558	9,867
1年内返済予定の長期借入金	1,306	1,448
未払法人税等	199	107
賞与引当金	166	210
その他	1,124	1,117
流動負債合計	16,842	15,046
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	1,799	2,438
退職給付引当金	1,001	997
資産除去債務	79	80
その他	303	271
固定負債合計	3,184	3,887
負債合計	20,026	18,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,293	5,792
自己株式	△1,343	△1,344
株主資本合計	9,830	9,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△20
為替換算調整勘定	△1,927	△2,160
その他の包括利益累計額合計	△1,929	△2,180
純資産合計	7,901	7,148
負債純資産合計	27,927	26,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	10,215	8,712
売上原価	8,066	6,610
売上総利益	2,148	2,102
販売費及び一般管理費	2,510	2,200
営業損失(△)	△362	△98
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	2	11
物品売却益	11	7
その他	22	39
営業外収益合計	40	61
営業外費用		
支払利息	148	144
為替差損	369	177
その他	54	65
営業外費用合計	572	387
経常損失(△)	△894	△425
税金等調整前四半期純損失(△)	△894	△425
法人税等	47	76
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△941	△501
四半期純損失(△)	△941	△501

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△941	△501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△17
為替換算調整勘定	△424	△232
その他の包括利益合計	△443	△250
四半期包括利益	△1,384	△752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,384	△752

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△894	△425
減価償却費	573	536
賞与引当金の増減額(△は減少)	62	44
受取利息及び受取配当金	△5	△13
支払利息	148	144
為替差損益(△は益)	329	175
売上債権の増減額(△は増加)	△644	2,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,580	△988
その他の資産の増減額(△は増加)	△184	△63
仕入債務の増減額(△は減少)	683	△1,156
その他の負債の増減額(△は減少)	△86	14
その他	21	23
小計	△1,578	305
利息及び配当金の受取額	6	12
利息の支払額	△147	△143
法人税等の支払額	△185	△209
法人税等の還付額	67	40
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,837	5
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△514	△216
定期預金の払戻による収入	576	222
有形固定資産の取得による支出	△265	△222
保険積立金の積立による支出	△22	△22
その他	13	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212	△257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△382	△615
長期借入れによる収入	774	1,515
長期借入金の返済による支出	△740	△734
社債の発行による収入	—	100
リース債務の返済による支出	△135	△55
その他	△16	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501	208
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,620	△91
現金及び現金同等物の期首残高	4,865	2,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,245	2,334

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。